

機械保全技能のスキルアップで現場が変わる!!

いま、日本の強みであった「現場力」「継続的改善力」そしてそれを支える「人材」が失われつつあります。経営課題を達成するためにも製造業には強い“ものづくり力”を強化することが必要です。

JMACでは、40年に渡ってTPM®(全員参加の生産保全)活動を提唱し、国内外で大きな成果を上げてきました。

一過性ではなく、“継続的な体質改善”を可能にしてきたのが、TPM®(Total Productive Maintenance)です。

今回は、現場力を強くするための術として、“設備保全の訓練”の説明をいたします。“設備保全技能を学ぶこと(=設備の構造を知ること)”で、設備故障ゼロと生産(P)を上げることを目指す設備保全の初歩を理解して頂きます。設備の機能・構造を知ること、異常発見が出来る、トラブル対応が迅速に出来るはずですよ。

製造現場で重要な「自主保全」についてご理解いただき、設備に強い“人づくり”のヒントを掴んでいただきます。

是非、この機会にご参加下さい。

■期 日:2017年11月2日(木) 13:30~16:40 <受付 13:00から>

■会 場:明石商工会議所 5F 大会議室 (明石市大明石町1丁目2-1)

■講 師:今津 博志【株式会社日本能率協会コンサルティング TPMコンサルタント】

■対 象:製造業の経営幹部・部課長、現場リーダー、主任の方々

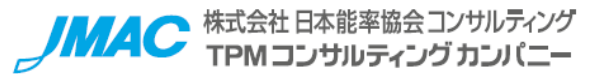
■定 員:40名 (先着順になります)

■プログラム

- 日本のものづくり現場の実態
- 製造現場になぜ『設備保全技能』が必要か
- 現場を強くする「設備保全技能教育」の進め方
- 技能教育の各テーマ(事例:締結(ネジ)編)の説明
- グループワーク わかったこと、気づいたこと
- 質疑応答

※講演内容は若干異なることがあります

■お問い合わせ先



TPM 営業部 担当:石橋(イシバシ)

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22

ハービス ENT オフィスタワー19階

TEL:06-4797-2030 FAX:06-4797-2031

Toshiyuki_ishibashi@tpm.jmac.co.jp http://jmac.jp

■主 催:株式会社日本能率協会コンサルティング

協 力:一般財団法人明石市産業振興財団

TOメールにて、申込をお願いします【メールアドレス:seminar@tpm.jmac.co.jp】

KA-1135

FAX: 0120-097-580 JMAC セミナーお申込専用フリーダイヤル 行

★申込する場合、E-mail アドレス もしくは、FAX 番号を必ず記入してください。参加案内は開催 2 週間前を目安に送付します。

■参加案内送付先: ①E-Mailアドレス ②FAX 番号

■ものづくり技能教育体験セミナー(11月2日:明石商工会議所 5F 大会議室) 参加申込書

会社・事業所名				
所在地	〒			
	TEL:	FAX:	メール:	
参加者①	氏名		所属・役職	
参加者②	氏名		所属・役職	

※FAXにてお申し込んだ場合、ご記入いただいたFAX番号へFAX受信の連絡をさせていただきます。<個人情報の取り扱いについて>ご記入いただいた個人情報は、当セミナーの運営、管理、資料送付等を目的として収集させていただきます。また、後日に当社および関連法人の商品・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。収集した個人情報は、当社プライバシーポリシーに則った安全対策を施し、適切に管理いたします。<http://jmac.jp>

【今回のセミナー趣旨】

講師は、株式会社日本能率協会コンサルティングのTPMコンサルタントです。

講演会を聴いて、グループ討議を実施します。

目的は、参加者の交流と講演の内容で気づいた点等を整理して頂き、参加者の今後の行動変革になるためです。

設備保全技能をアップする事が現場を変え、現場力が強くなり、強い人財になり、現場が変わります。

具体的に保全技能の事例を紹介します。

・締結(締め付けトルク、ネジ)の役割、点検方法の内容を紹介します。

締結の知識不足・技能不足で故障トラブルの要因になっています。

今回は、その締結の一部を体験セミナーとしてのセミナーになっています

知らない人には、教育をする。知っている人には、訓練をする。

技能訓練という気負いすぎるので、第1ステップは教育を、第2ステップは保全道場、第3ステップは、技能訓練というステップ展開で、機械保全技能を修得する事が、設備トラブルの削減になります。

【参考】現場力強化の早期問題解決の鍵

・指示されただけの仕事から『自己管理』文化への変革と定着
～【現場力の醸成】～

・生産性については、工程の能力不足、工程の流れの複雑さ

★設備故障による停止ロスの改善

★定期点検、予防保全の充実

・生産性の改善、技能伝承、真のものづくりの基本を浸透することが重要です。

★ものづくり現場の人材育成

社員一人ひとりの「知恵・工夫」とそれを生み出す「仕組み」と「風土（環境）」です

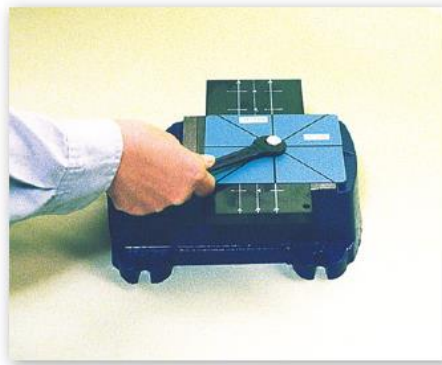
ものづくり強化は、

“やる気・やる腕・やる場の提供と仕組みと環境” が重要です

【設備保全の教材】 今回は、講義のみになります。



▲スプロケット・チェーン組立作業



▲ボルト締め作業